

広報 もくれん



7

創刊200号

1999
July
No.200

静岡県木材協同組合連合会
〒420-8601 静岡市蓮手町9番6号 県庁西館9階
TEL.054-252-3168 FAX.054-251-3483
e-mail: s-mokuren@mail.wbs.ne.jp
http://www2.wbs.ne.jp/~smokuren
(購読料1年5,000円 会員は会費に含む)



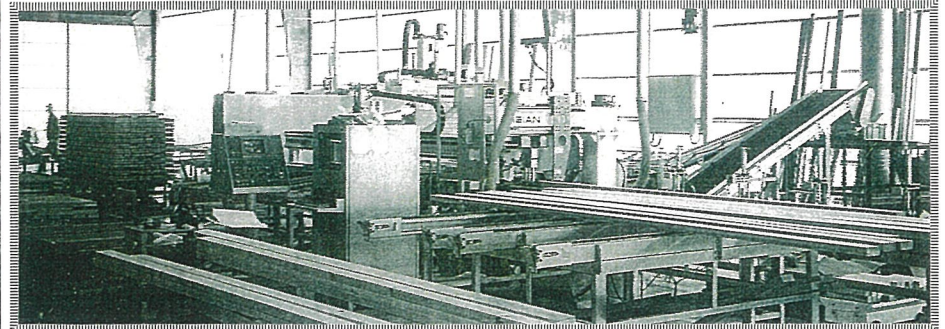
7月号のもくじ

特集 木材産地・静岡～過去、現在そして未来へ 「時代の波と変化の因果」 ●……2～3

この人と30分・ぶらり訪問「夢と希望を屋外に」 ●……4～5
すすむ木造化「自然体験がいっぱい」 ●……6
岡岡・辛口・地獄耳「住宅性能の表示(上)」 ●……7
ニューリーダーに聞く「新たな共同化に向け」 ●……8～9
拓け!木青道「やらなければ何も得られない」 ●……9
ウッティエンス・しずおか「共同研究のスタートに」 ●……10～11
委員会だより「ネットワーク化、その後」 ●……11

おが粉「目的意識」 ●……12
静岡県職工新設住宅戸数「平成11年2～4月分」 ●……12
もくれんプラザ「スタート・読む・イベント・セミナー」 ●……13
行政の眼「福祉のまちづくり」 ●……14
編集室から ●……14
PRのページ ●……15～16

21世紀の豊かな住まいづくりをめざして。 全自動 構造材・羽柄材加工システム。



- お客様のニーズにキメ細かくお応えします。
- 完成度を高めた新技術、新機能。
- 安定した加工でお客様に提供。

清水港木材産業協同組合

モクサンプレカット

清水市長崎1000
TEL0543-48-8080
FAX0543-48-8083

木材保存の総合メーカー。

CCA加工で問題となっている公害を
ACQ加工により見事にクリアー!!

ACQ **マイトレック**
(水溶性)加圧用防腐防蟻薬剤

マイトレックの高い防腐防蟻効力と安全性が
"信頼"と"安心"を生みます。

- 厳しい条件下でも、最大限に防腐防蟻効果を発揮します。
- 信頼できる低毒性と安全性です。
- 処理材は薄い精力青緑色。鉄腐食についても安心です。

美しい木を美しく守る。
木材保存はAAC加工の時代です。

AAC **レザック**
加圧注入木材/防腐・防虫防蟻薬剤

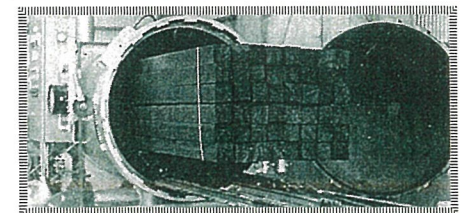
加圧注入処理をしても色がつかず低毒性。

- 極めて低毒性で安全性が高いので安心です。
- 無色、無臭の液体なので加工も自由自在です。
- 無処理材と同様に焼却処分ができます。

清水港木材産業協同組合

モクサンテクノウッド

清水市清開3-6-25
TEL0543-34-1271
FAX0543-35-5743



新しい木材保存として加圧注入方式による割れ抑制。
そのうえ防腐防蟻処理。

ブジテック 割れ抑制剤+AAC
(レザック)=混合剤



モクサンの成型(丸棒加工)
をご利用ください。
丸太の太さはφ60～φ200
まで加工できます。
ポーチの柱、木柵、杭など。

■住宅・エクステリア

- 高級構造部材、テラス、フェンス、花台、ガーデンファニチャー等。
- 道路・広場 モレンガ、縁木、階段、デッキ、木橋、等。
- 修景施設 パーゴラ、プランター、ゲート等。
- 遊具施設 木製遊具等。
- 休養施設 四阿、ベンチ、展望台等。
- 管理施設 案内板、木柵、屑入れ等。

200号
特集



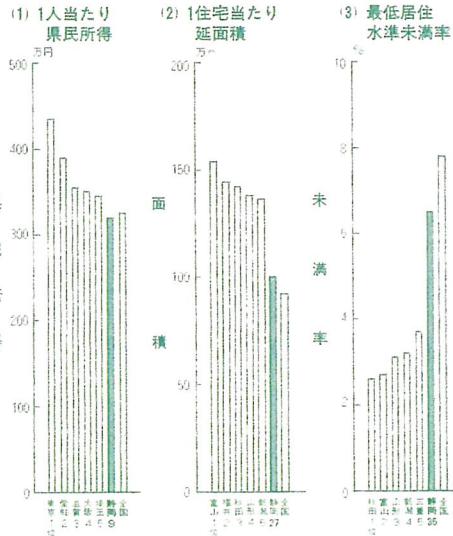
時代の波と

木材産地・静岡～過去、現在そして未来へ

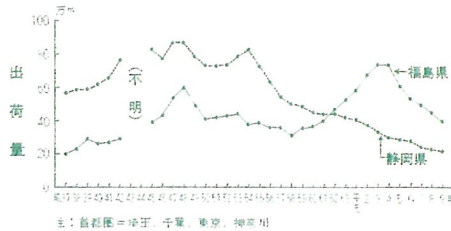
変化の因果



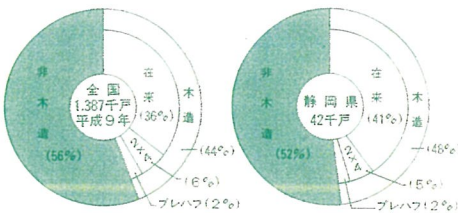
6図一都道府県別順位



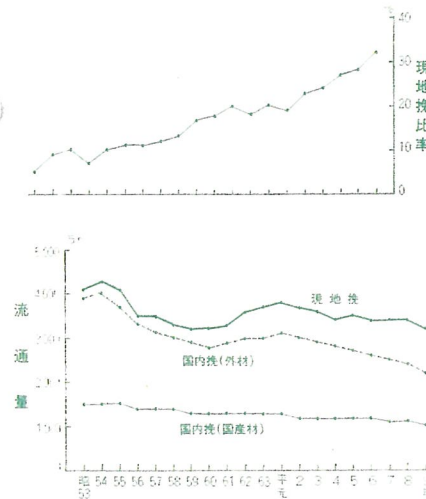
4図一静岡県、福島県の首都圏への製材出荷量



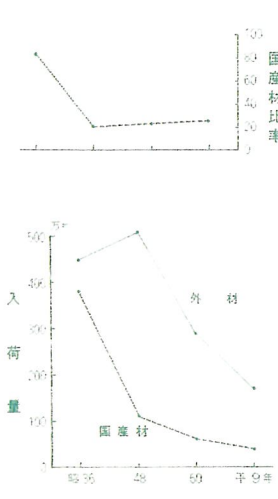
5図一着工新設住宅の工法別戸数比率



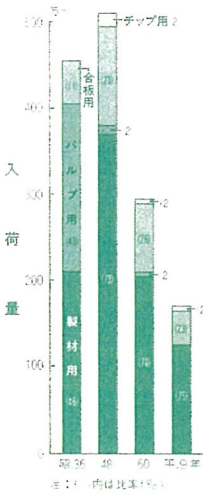
3図一産地別製材流通量と現地挽比率(全国)



2図一産地別素材入荷量と国産材比率



1図一用途別素材入荷量



材流通の三三％を占める。一方、輸送革命は国内の地域間競争を促す。四図は静岡、福島両県の首都圏への製材出荷量である。くしくも両県の出荷量が交差する六三年ころ、常盤自動車道が開通している。東京三郷、いわき、勿来間一五五km、東名自動車道の東京・清水間も一四八kmと距離的に似通う。産業立地の条件較差がもたらされるようになる。

住宅産業



昭和四三年、中央公論誌上に「住宅産業」論が発表された。日本の住宅産業の幕開けである。木材界のお株と思っていた住宅へ、他産業からの参入が相次ぐ。独創的な技術によるプレハブ、北米型の2×4等の工法による住宅がそれである。五図は平成九年に着工された新設住宅の戸数比率である。全国も静岡県も木造在来工法の住宅の比率は四割前後にとどまる。さらに、新工法は新しい部材の開発を誘発する。

昭和三十六年、静岡県の丸太

丸太は製材へ

昭和三十六年から平成九年まで、三六六年間の丸太、製材の流れを中心に、時代の波と業界変化の因果を探る。十二年後の四八年、高度成長は第一次石油危機で終止符を打つ。次いでまた十二年後の六十年、ブラサ合意後の円高不況、円高景気は、木材界にさらなる体質転換を容赦なく迫る。また、二図のように三六六年の丸太の国産材比率は八五〇。その後、高度成長を賜う木材需要を満たすため、外材輸入が急増、四八年の静岡県産材比率は四〇〇万㎡、国産材比率は二二％に低下。この裏では木材専用船の導入、荷役の合理化等の輸送革命が進んでいた。また、二図のように三六六年の丸太の国産材比率は八五〇。その後、高度成長を賜う木材需要を満たすため、外材輸入が急増、四八年の静岡県産材比率は四〇〇万㎡、国産材比率は二二％に低下。この裏では木材専用船の導入、荷役の合理化等の輸送革命が進んでいた。

製材の輸入





夢と希望

株式会社くらた
代表取締役 倉田 昭(くらた あり)氏

プロフィール

昭和18年、静岡市生まれ。41年同社創業。材木店等の勤務を経て、上専入、ユーカリ材主体の屋外木製品の開発に取り組み、数多くの製品を企画開発している。県家具工業組合副理事長、エコウ材景観協同組合理事長も務める。趣味はハンデンス、血液型AB。

イスと同様に、遊具の場合、梁と柱の接合部の強度試験が必要ですので、県静岡工業技術センターに性能試験を依頼しています。

Q、営業上の苦勞は？

思想生産し、注文がくれば翌日出荷という家具の流通と違い、行政機関や設計事務所への訪問に力を入れています。まず提案書を出し、何回か通って採用となれば基本設計見直し、実施設計、入札、施

Q、性能試験は、どうされていますか？

Q、会社の概要を教えてください。

昭和四一年に創業し、現在では三分の二がユーカリボードを中心とする屋外家具、三分の一が屋外家具を生産しています。後者はここ五年位の間に開発・販売を進めてきた

DIYレベルの品質では



この人と30分

ぶらり訪問 27



ユニット式木製大型遊具 ユーカリハウス

※写真の遊具は、静岡県内各自治体等に納入されている製品です。価格はお問い合わせください。

ものですが、家具というより現場施工をとらなう木工事業のような分野です。

Q、ガーデニングブームのなか、屋外家具への反響はどうですか？

六月初旬の恒例の家具メッセでは、これまでと違い屋外に目を向けるお客様が多く、かなりの手こたえを感じています。今後、外構用木材を使った屋外家具やデッキに夢と希望、新境地を求め力を注ぐことになると思います。

カーテニクフームといえ、国内の家具メーカーとしては、東南アジアなど廉価輸入品を主体とするDIYレベルの差別化が大きなカギとなります。当社としては、DIYレベルの品質では満足できないお客様のニーズにの応えていくのが狙いです。

素材選びがポイント

Q、国際化の進むなか、国内のモノづくりの心構えは何でしょうか？

輸入物の家具や量産品が低

工国作成、現場打合せに入る。とにかく最初の営業活動から工事完了まで長い年月を要し、最長では三年位掛かります。

ハードからソフト

Q、変革の時代、協同組合に求められるものは？

ご存知のように、中小企業施策の基本が保護から競争へ大転換しました。したがって、これからの組合活動の中心は、共同購入等のハードよりソフト部分の指導に移らざるを得ないのではないのでしょうか。

国際規格ISOへの対応、商品やデザインの開発、市場開拓等々、まずこれらの指針を取りまとめ、方向付けをしていくことが大切だと思います。そのなかでどうしても必要なのは、何組かの有志チームで実践して行く、会員総会や企業規模のバラツキ、業態等を考えると、グループ単位の組合に分散し、連合会組織に再編する。

各グループは個々にあったテーマで勉強会を自主的に行い、連合会ではそれらをサポート

迷を続けていることを考慮すると、従来の思想生産から受注生産的な発想に切り替える必要があります。単品生産にともなうデザイン変更・開発でも付加価値をどれくらい取れるかが大切です。そのためには適切な素材選びが勝負を決める重要なポイントでしょう。

幸いにも我が社の場合、十一年前にユーカリ材の産地の特性を前面に押し出した製品を開発したわけですから、聞くところによると、ユーカリ材は十五年程前に輸入されたようです。当時は環境問題も今ほどでなく、作れば売れる新建材全盛期でもあり、材の加工性の悪さも手伝って、ユーカリ材は見向きもされなかったようです。

ユーカリ研究会が発端

Q、昨年「モノづくりデザイン静岡大賞」を

中で後方支援してゆく。同じ課題が各グループで出れば、全体の問題として社会に提議してゆく。これが理想像でしょうね。さらに踏み込んで言えば、コマシヤルベスで家々と戦える環境を組合が作る必要があります。

基本方向はエコロジー

Q、今後の社業の展開方向をどうお考えですか？

今後新建材の家具は、環境問題の側面から法規制が厳しくなってくると思います。当社の主材はファイバーボードですが、燃焼時に接着剤から発生するタイキシン等終末処理にまつわるトラブルが予想されます。これからは、長く使える、後で再生できる材料が必要です。

そこで、屋外用のユーカリ材に対し、家具用素材として松に似た白木のアラカリア材に手を付けはじめました。塗料も、ポリエスチルと有機溶剤を使わない方向へとスライドしてゆかざるを得ないでしょう。商売である以上、時

取られましたが、商品開発の体制は？

外部デザイナーとの契約によるものエコウッド景観協同組合によるものとの二本立てです。この組合は、木材、家具、土木、建築の四社による異業種連携グループです。組合の発端は、ユーカリ材導入一年後に作ったユーカリ研究会でした。月に一度の意見交換会を重ね、商品化を言い出した一部のメンバーが結果しました。

今回の受賞作品も、組合が静岡市のリデザイン事業の支援を得て、二年掛かりで開発したものです。この組み合わせ式大型木製遊具「ユーカリハウス」も、当初はスギ、ヒノキ材を使い大工さんの手で試作しました。その後、モジュラー、接合金具等を検討し、ユーカリ材による商品化にたどり着きました。

この遊具のほか今日まで木製歩道、デッキ、屋外テラス、ベンチ、フェンス、プラシター、看板等数多くの商品を開発し、採用願っています。

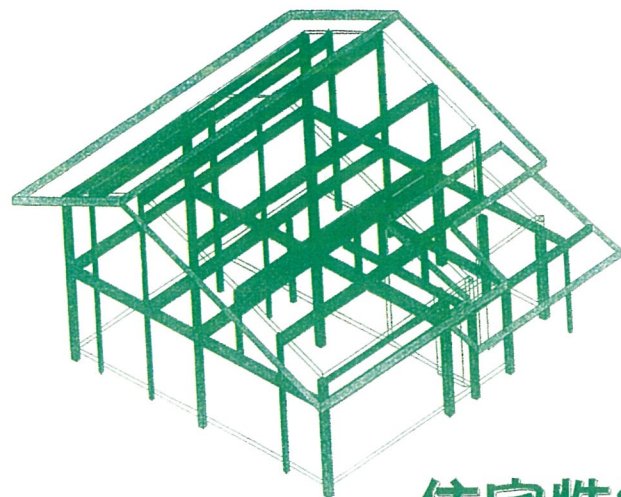
Q、最後に県内の木材業界に向けてひとこと。

今までコンクリートやタイで作っていた歩道が木製になったり、ベンチ、ゴミ箱等の景観部材として木材の採用が増えてきました。この行政レベルでは、木材のCO₂固定化等環境面から木材再評価のきざしが見受けられ、追い風が吹きます。

しかしながら、新世紀に向けて私たちの経営環境は想像以上に大きく変化するでしょう。国際化の進展や、性能規定化の進むなか、今後多種多様な材料、構法が生まれてくるでしょう。針葉樹に限れば、家具よりもやはり建築材としての使用量が圧倒的に多い。新しい機能を持った内装材、外装材、構造システム等研究開発をどんどん進め、健康的で環境にもやさしい木材を、自信をもってアピールしてほしいですね。(文責 編集部)

岡目 辛口 地獄耳

随時-40



住宅性能の表示 (上)

そして、「住宅の性能表示の項目に、健康上からも化学物質の問題を入れるべきじゃないか」「健康に害のありそうな物質の使用を規制できないか」さらには、「日本古来の住宅では化学的溶剤等は使

や取りである。そして、「住宅の性能表示の項目に、健康上からも化学物質の問題を入れるべきじゃないか」「健康に害のありそうな物質の使用を規制できないか」さらには、「日本古来の住宅では化学的溶剤等は使

「建築基準法の目的は、『建築物の敷地、構造、設備および用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康および財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする』となっております」

「建築基準法の目的は、『建築物の敷地、構造、設備および用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康および財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする』となっております」

「建築基準法の目的は、『建築物の敷地、構造、設備および用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康および財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする』となっております」

一、政治家 VS 官僚

「建築基準法の目的は、『建築物の敷地、構造、設備および用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康および財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする』となっております」

「建築基準法の目的は、『建築物の敷地、構造、設備および用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康および財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする』となっております」

「建築基準法の目的は、『建築物の敷地、構造、設備および用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康および財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする』となっております」

「建築基準法の目的は、『建築物の敷地、構造、設備および用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康および財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする』となっております」

「建築基準法の目的は、『建築物の敷地、構造、設備および用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康および財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする』となっております」

「建築基準法の目的は、『建築物の敷地、構造、設備および用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康および財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする』となっております」

「建築基準法の目的は、『建築物の敷地、構造、設備および用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康および財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする』となっております」

「建築基準法の目的は、『建築物の敷地、構造、設備および用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康および財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする』となっております」

「建築基準法の目的は、『建築物の敷地、構造、設備および用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康および財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする』となっております」

「建築基準法の目的は、『建築物の敷地、構造、設備および用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康および財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする』となっております」

「建築基準法の目的は、『建築物の敷地、構造、設備および用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康および財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする』となっております」

「建築基準法の目的は、『建築物の敷地、構造、設備および用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康および財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする』となっております」



① カラマツ林の中、愛らしい外観
② 木質感タッブリの内装



施設の概要

■所在地	静岡市岩崎字穴沢264
■構造・規模	木造・丸太組構法・平屋建
■建築(延床)面積	335.74(339.02)㎡
■竣工費	226,049千円
■設計	静北建設、静北建設、無に静岡市
■監理	静北建設、静北建設、無に静岡市
■施工	静北建設、静北建設、無に静岡市

すすむ木造化 No.88

自然体験がいっぱい

静岡県/県民の森・ログハウス

木造化シリーズ第八八回は、三年掛かりの工事が終了し、昨春オープンした宿泊施設をご紹介します。

▽ 冬季利用にも応える

取材地は、市街地から車で北上すること一時間三十分、眼下に井川湖を見下ろす静岡市北部の井川・梅ヶ島地区。周辺尾根沿いの約千haにまたがる広大な県民の森・キャンプ場の一面にログハウスが整備されました。同キャンプ場には、すでに四八人・四人部屋×九室、六人部屋×二室が宿泊できる二階建てのロッジがありますが、残念ながら冬季の利用ができませんでした。

「周辺には、平成元年十二月にリバウニル井川スキー場もオープンし、この宿泊対応等施設活性化対策の一環として今回ログハウスを建築した」(県自然ふれあい室一のことです)。

▽ オール国産材仕様

完成したログハウスは、キジ、ホトトギスなど山鳥の名を冠し、全部で十五棟。「周囲の景観を

考慮し、支障木の伐採は最小限に抑え、木の地色を生かした丸太組の構造物とした」(設計事務所一)というように、赤い屋根のログハウスは鮮やかな新緑にふに溶け込んでいます。

施設の概要は別表のとおりですが、キャンプはロフト付と平屋建の二タイプがあり、どちらもスギ・ヒノキの外壁でポリウム感もタッブリ。思わず深呼吸したくなるバルコニーは、二五層厚の防蟻処理ヒノキ材、軒天は丸太厚のスギ、窓枠、額縁もヒノキ材とオール国産材仕様です。

▽ 夏休みを控えて

キャンプ場周辺には、カラマツ、モミ、ブナ、ヒメシヤラ、ウエデ、リョウブ、ゲケカンパなど多彩な植生のなか、動植物の自然観察会をはじめ、ハイキング、フィールドアスレチック等終日自然を満喫できます。昨年度の利用者は、八月のピーク時に千人で、計三千二百人。夏休みの七、八月を控え、すでに予約の申し込みが始まっています。

拓け! 木青連

やらなければ
何も得られない

静岡県木青連第33代会長 川口祐介(田子浦港木材青年協会)

平成11年度執行役員名簿

役職	氏名	所属会
会長	川口祐介	田子浦港
副会長	西野清	清水港
総務部長	奥田直樹	大田
経理部長	山崎昌	清水港
技術部長	山崎昌	清水港
研究部長	佐藤信之	金谷
監事	野口久範	品川港
監事	佐藤久	品川港
監事	佐藤久	品川港



県木青連では、去る5月22日、富士市において、第42回通常総会を開催しました。本紙では、その席上、新会長に選出された川口祐介氏に抱負を伺いました。

Q1. 会長として1年間主力を注ぎたいことは?

スローガンを「伝えよう共感のエネルギー〜21世紀、木の時代へ」とし、私達自身が木への共感と認識を深めながら、それを多くの人へ伝えていきたいという願いからです。共感を深める活動として研修会、視察研修、研究事業があり、伝える活動として木工工作コンクールがありますが、本会の活動意義を再確認して、より積極的なものにしていきたいと思っています。

Q2. あなたにとって木青連の活動とは?

情けは人のためならず。自分にできることを一生懸命やれば、必ず自分に返ってくると信じています。積極的に出て行くこと、活動することで得られる知識や人間関係が、きっと自分の将来にプラスになると思います。やらなければ何も得られないし、その本質もわかりません。井の中の蛙で商売は続けられないと考えると、そういう場を与えてくれる組織体として存在意義は充分にあると思っています。

Q3. 木材業界の将来(夢)は?

健康住宅など、住環境に対する意識の高まりで、木への共感も得やすい時代です。21世紀の木材供給量の増大という見通しの中でも、住宅関連の法改正など、木材に対する認識や商売のやり方を変えていかないと、生き残れないかもしれません。お仕着せでない、説得力のある木材の提供を真剣に考えていきたいですね。

いかに充実
させるか掛川木材協同組合
理事長 鳥山 剛 市

このたび掛川木協の理事長を申し受けることとなりました。当組合は、現在組合員数30名、その中で建築関係は28名ほどで、その他は梱包業、木工業です。役員会、総会、新年会等会合への出席率が悪く、今後いかに出席率の向上を目指すか、課題の1つといえます。

大手ハウスメーカーの進出、低価格木材製品の輸入増加等の影響により、木材業者が事業の縮小や廃業を余儀なくされている現状の中で、組合活動をいかに充実させていくか、誠に重責を感じるものであります。組合員の組合離れが進む中で、組織の充実を目指し努力してまいりたいと思います。基本連および諸先輩方の指導をお願い申し上げます。

大切な
後継者教育田方地区木材協同組合連合会
会長 長谷川英雄

本会は、連合会組織のため、地区により事情が異なり非常に運営の難しい面があります。激力ですが、傘下ら組合が結束し、力を合わせていくことができるよう、努力してまいります。

現在、大手住宅メーカーの下請け企業は非常に忙しい状況にあります。大手住宅メーカーには仕事がありますが、中小の工務店には仕事がなく、我々木材関連業者も企業間格差が激しくなっています。経営者は、常に前向きに考えていかなくては、この状況を乗り切ることはできません。そのためには組合として何をなすべきか、模索しているところですが、情報化時代に備えて、インターネット等あらゆる情報化に力を入れてまいりたいと考えております。

また、後継者教育は非常に大事な問題です。各種勉強会への積極的な参加を呼びかけるなど、力を注いで行きたいと思っています。

「和以爲貴」
を基本に天竜木材協同組合
理事長 村越 典 和

このたびの通常総会において、理事長の大役を受けることになりました。皆様方より一層の指導をお願いする次第です。

このところの業界は大変な苦境に立たされております。木材・住宅の流通の変化等構造的な問題に加え、産業廃棄物関連法、住宅性能・完成保証制度など難題を抱えております。これら全体的な問題は、基本連との連携を密にし協力していくことです。

当組合としましては、組合員の減少、チーフ事業の将来性、組合の方向性等厳しい現実、役員をはじめ組合員一同「和以爲貴」を基本として組合活動を進めたいと考えております。

なお、本年10月には、浜松木材青年クラブ、天竜村友会が中心となり、木の復権をかけて「もくもくまつり'99」を開催する予定です。本年度PR事業の一環として、積極的に参加応援したいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

利用開発
の道を磐田木材協同組合
理事長 薩川 洋一

このたび磐田木協の理事長に就任致しました。当組合は、19社の少数組合員で構成されています。皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。

さて、就任にあたり2点述べてみます。木材の利用は建築材であることはもちろんですが、木材の多目的利用としては、まだまだ研究開発の余地が残されています。視野を広げて総合的利用開発の道を追求していききたいと思います。

また、木材乾燥問題は、常についてまわる必要不可欠なものであり、研究してゆきたいと思います。そして、地域単位の産業祭、イベント等にも引き続き参加、出品して木材PRを実施します。

最後に、この厳しい時期を乗り切るよう組合員ともども和をもって組合運営をしていく決意であります。

新たな共同化
に向け

NEW * NEW * NEW * NEW

ニューリーダーに聞く

組合の
指導枠は金谷木材協同組合
理事長 佐藤 潔

新たに柳川金雄氏のあとを引き継ぎ、理事長を引き受けることとなりました。

当組合も、現下の厳しい状況下、組合員の減少に見舞われております。業界の活性化といっても、個々の企業努力の集積としてのものであり、協同組合活動としてリードできる枠は何なのかを考えなければなりません。

当組合は、幸い従来より、地域の公共事業に対してより一層の利用を訴えてきており、「お茶の郷」ほか、2、3の公共建築用材を組合で共同受注することや、伐採事業の共同請負を実施してまいりました。今後も継続してこの種の仕事を推進していく所存です。

また、別組織ではありますが、当組合と密接な関係にある大井川小径木加工事業(協)のより一層の発展を期して、組合員の事業要請をまとめ、新たな事業展開を模索していききたいと思います。

当組合の維持と健全な運営のために、知恵を絞りたいと思います。

委員会だより

ネットワーク化、その後



▲家づくりの理念は…

本紙196号にて平成10年度末までの事業経過を報告した地域の家づくりネットワーク化・地域住宅産業推進事業。

本年度は行政委員の一部を変更し、去る6月16日の第1回開発委員会を皮切りにスタートしました。本年度事業では、

- ① 前年度の基本設計で提案された「森林(もり)につながる家」3プランの共通課題の整理と標準住宅モデルの実施設計の検討。
 - ② 住まいづくり理念の取りまとめと事業化に向けた組織形態の検討。
 - ③ 前記①、②に関連した所要の性能試験の実施。
 - ④ 木造軸組構法合理化への取り組みやネットワーク化等先進事例の調査。
 - ⑤ 事業の経過、開発成果の普及をはかる展示会等の開催。
- などを通じて、さらに一歩踏み込んだ事業を展開する予定です。

今回の発表では、そのような酢酸ビニル樹脂エマルジョンの耐水接着性能を向上させるための、接着剤原料に耐水性の高いものを使用した場合の接着性能についての結果を報告しました。幸い発表は好評で多くの人に聴講していただき、また、いくつかの質問も受け、今後の研究に役立てることができました。

ところがこの接着剤は非ホルムアルデヒド系であり、また取り扱いも容易なもので、耐水性を向上させれば、もっと広い用途に対応できると思われま。

木材関係の発表も多数

この大会では木材関係分野だけでなく、金属、プラスチック、その他の接着技術や接着剤、接着剤用樹脂の開発など多くの分野の研究者が発表します。

皆様に関係の深い木材関係では、合板からのホルムアルデヒド放散とカビ生長抑制に関するもの、木材用接着剤としてよく用いられているレゾルシンオール樹脂接着剤やフェノール樹脂接着剤の改良や分析、合板中の接着剤分布、OSBに使用する木材用接着剤

の特性、木材繊維走行による接着強さの試験方法の影響、木材用接着剤の新しいクリープ評価法、超音波による合板耐久性の非破壊評価、木質材料の接着耐久性予測法の開発、OSBおよびPBの強度分布特性におよぼす屋外暴露の影響、自己接着性を利用したパガスボードの製造などがありました。

また、変わったところでは、クモの糸の構造、接着剤を制御材料として用いる研究、歯科用接着剤の研究、廃PETのリサイクルに関する研究、食肉用接着剤の研究など、専門家だけでなく興味を引かれる研究が多く見受けられました。これらについては紙面の関係で詳しく記述することができません。ご興味をお持ちの方がおられましたらご連絡いただきたいと思います。学会といいますが、厳密しくアカデミックなことばかりやっていて、実用には何の役にも立たないとお考えの方も多いことと思います。私もこの意見を全く否定はしませんが、しかし、ほとんどの発表は近い遠いあっても必ず実用を意識していますし、発表者の方も内容は難しくてもそれを簡単に伝える努力をしていると思います。

皆様方に学会に参加して下さいといはなかなか言えませんが、時々、今学会で何が話題になっているのかとか、今注目されている新しい技術は何かといったことにも興味を持っていただけたら幸いです。ご自身が参加できなくても、我々大学へあるいは公的研究機関などに問い合わせれば情報が入手できると思います。

場合によっては、そういったことが共同研究のスタートになるかもしれません。このような機会を始めて、業界の方々との交流の場になればと思っています。



懇親会で行われたガマの油売りの様子

六月二日(四)までの三日間、日本接着学会三十七回年次大会が、つくば国際会議場(エポカルつくば)で開かれました。

この大会は、創立三五周年の記念大会でもあり、アメリカ接着学会会長の特別講演や宇宙開発事業団つくば宇宙センター(NASDA)の見学会があり、通常の年次大会以上の盛況ぶりでした。

私も発表する機会に恵まれましたので、今回はこの模様を皆様にご紹介します。

新築：空気汚染が

大会の会場となったエポカルつくばは、前日の六月一日に開館したばかりで、この大会がこけら落としの催事となりました。この建物は地上四階建てで、最大二二五八人収容可能な大ホールを含む一丸の会議室があります。

また、さすがに国際会議場だけあって、六カ国語同時通訳システムや衛星回線対応のTV会議システム、CATV

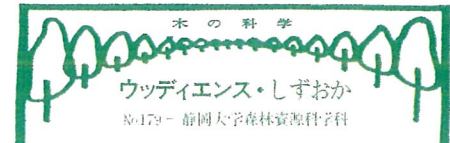
大会の会場となったエポカルつくばは、前日の六月一日に開館したばかりで、この大会がこけら落としの催事となりました。この建物は地上四階建てで、最大二二五八人収容可能な大ホールを含む一丸の会議室があります。

また、さすがに国際会議場だけあって、六カ国語同時通訳システムや衛星回線対応のTV会議システム、CATV

幅広い分野の参加者

さて、このすばらしい会場で日本接着学会大会が開かれた訳ですが、今や日本全国で様々な学会大会が開かれており、皆様の中にもこれら的大会に参加された方々もいらっしゃると思われました。

この大会で私は「アセトアセチル化PVAを保護コロイドとした酢酸ビニル樹脂エマルジョンの物性と接着性」というテーマで発表をいたしました。木工用ボンドとして有名な酢酸ビニル樹脂エマルジョン接着剤ですが、この接着剤は耐水接着性能が低いため乾燥状態での使用に限定され



共同研究のスタートに

木質科学講座

助手 山田 雅章



展示発表をする筆者

システム、ハイビジョン対応スクリーン、LANなど様々な設備が設けられております。ついでにつけ加えますと、この館長はあのノーベル賞受賞者である江崎玲於奈氏であります。

ただ一つ難点がありまして、カーペットの難燃剤なのか施工材(剤)に含まれるVOCなのかわかりませんが、会場内には猛烈な臭気(新車の臭い)が立ちこめており、これによって気分が悪くなった人もおりました(私もその一人です)。

新しいから仕方がないといえはそうかもしれませんが、同じく最近オープンしたアランシアではこのようなことはありまじから、対策のしようはあると思われました。

しやることと思います。それらの大会と比べますと、日本接着学会大会は参加者二百数十名、発表件数も百件に満たないどころかという小規模な大会であると思います。

今回の大会でも討論発表十五件、ポスター発表六十六件、その他各賞の受賞講演三件、特別講演、招待ポスター講演が各一件と全て足しても百件に満たない内容でした。

しかし、内容、参加者ともに多岐に渡っており、大学や公的研究機関の研究者だけでなく、民間企業の技術系の関係者と非常に幅広い分野の方々と議論できる機会があり、なかなか有意義な大会であると感じました。

再生元年の委員会



変革期に直面している組合組織の機能、事業、財務等に関わる諸問題を幅広く見直し、今後の在り方を多面的に検討する「組織再生委員会」が7月12日よりスタートします。

委員は、単位本協より推薦された別表の9名の皆様です。

緊急の検討課題は、①受託業務の再検討、②役員定数の見直し等に係る定款の変更、③会費の在り方の3点です。

今後、年末に向けて委員会協議を重ね、明年1月の理事会に提言してゆく予定です。

委員名簿

氏名	所属
島野 忠巳	大滝本協
鈴木 康忠	浜松
村松 善昌	大滝
酒井 登史郎	豊田
滝島 豊	静岡
片瀬 和彦	清水
片岡 博昌	富士宮
野崎 敏男	田子浦
朝岡 明夫	田方

敬称略、順不同

読む Q&A住宅品質確保促進法解説

建設省住宅生産課・監修
犬塚 宏・著



新法「住宅品質確保促進法」に係る解説書などが書店の店頭を賑わせはじめました。

本書は、新しく設けられた住宅瑕疵保証期間10年間の義務づけ、住宅性能表示制度や紛争処理体制など、同法により新設されたルールや制度をQ&Aによりわかりやすく解説しています。

(三省堂・2,000円)

また、建設省監修により、本法律制定の背景およびその内容について多くの図表を用いて解説した「図解・住宅の品質確保の促進等に関する法律」もあわせてご利用ください。

同課監修・創樹社
2,700円

もくろん7マガ



編集室では、会員の皆様からの情報をお待ちしております。



住宅展日程決まる



昨年度県住宅展・本会展示ブース

「安心・快適・夢ある住まい」をテーマに、来たる9月下旬、第35回静岡県住宅展が開催されます。出展者もほぼ決まり、7月23日には出展者に対する説明会が予定されています。本会は、地域住宅産業推進事業の経過展示等を中心に出展する計画です。

展示会の詳細は、追って単位本協を介しお知らせ致します。

■とき：9月23日(祝)～26日(日)

■ところ：静岡市曲金

「ワイン・メッセ静岡南館」

材木屋として、今やるべきことは



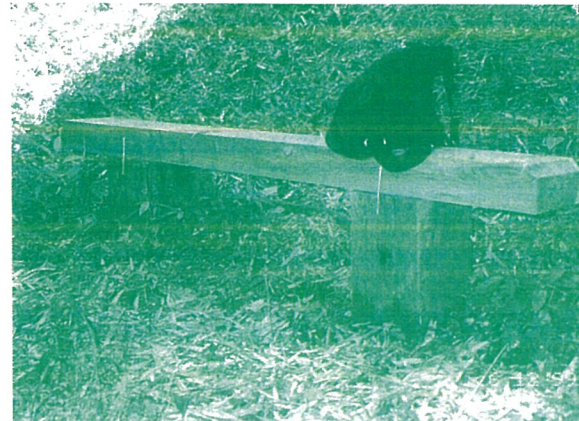
北遠本協(清水俊理事長)では、去る6月23日、通常総会とあわせ、「住宅建築に関する保証制度について」をテーマに研究会を開催しました。

当日は、講師に鈴木正勝(天竜土木事務所建築住宅課長)をお迎えし、組合員等約20名が参加、熱心に聴講しました。

受講者からは、「この法律をつきつめると『無垢材は使えない』ということになり、工業化木材への移行がますます助長されることにならないか。また、納付者、施工者等の責任はどうなるのか」と木材業界への影響を危惧する声も聞かれました。

材木屋として今やるべきことは何かを、改めて考えさせられる研修会となりました。

(レポート・北遠本協事務局)



目的意識

廃材利用のベンチ

ベンチが新しくなった。静岡市と焼津市にまたがる里山、ハイキングコースの途中、写真に見るとおり小さなものである。用土に向かって傾斜所も設置されている。足部分は、枕木廃材、二センチ角、D1Y店で見かけるもの。防腐剤注入済みで丈夫、もちろ土木中に埋めてある。人が腰かける部分はスギ厚板一本、幅二十センチ、厚さ八センチ程度、長さ一・五メートルである。上下はウサカイ四本で固定。以前のもものは、人が腰かける部分を二本の板、足は丸くしてやっていた。それに比べると新しいものは、単純で、よりしている。レンブリこそベストを地でゆく。

用途にふさわしく利用。これを見て、このことを思った。まず、環境にやさしいということの実行例である。普通に廃棄されそうなるものを、いかしたことに廃棄ゼロが合い言葉の昨今である。また、大きな木を上手にいかし、捨て材を少なくかつ、用途にふさわしく利用している。さぞ重かったと思うが、枕木はフツ切り、スギは厚い材材加工。手のこんだ工作はない。堅心地がいい。相当、長持ちするだろう。この、目的意識の大切さを思った。ブルーフは常々住みよい地域づくりを考えている。その一環として、古くなったベンチの取替えを話していたはず。従って折々に廃材を見たり、話を聞いて、それらの収集・再利用を進めたのだらう。

「常々何をすべきか、その意識存否が大事と思う。教わることは身近にある。」

平成11年2月～4月分 静岡県着工新設住宅戸数

市町村名	2月	3月	4月	市町村名	2月	3月	4月	市町村名	2月	3月	4月
静岡市	351	297	411	藤枝市	95	104	94	志太郡	21	19	15
浜松市	634	586	406	御殿場市	90	60	87	榛原郡	153	94	61
沼津市	213	230	281	袋井市	95	65	37	小笠郡	30	94	61
清水市	164	184	96	天竜市	10	5	8	周智郡	21	16	40
熱海市	12	20	21	浜北市	102	63	61	磐田郡	114	66	82
三島市	77	153	51	下田市	14	11	17	浜名郡	30	33	39
富士宮市	112	54	88	裾野市	48	96	28	引佐郡	36	41	29
伊東市	55	58	60	湖西市	39	30	39	県計	3,272	3,066	2,885
島田市	54	68	65	賀茂郡	26	34	18	市計	2,676	2,548	2,374
富田市	288	190	310	田方郡	59	67	70	郡計	596	518	511
磐田市	80	105	60	富東郡	36	34	59	東部計	1,035	1,012	1,092
焼津市	88	97	95	駿東郡	5	5	2	中部計	941	878	872
掛川市	55	72	59	富原郡	15	15	35	西部計	1,296	1,176	921

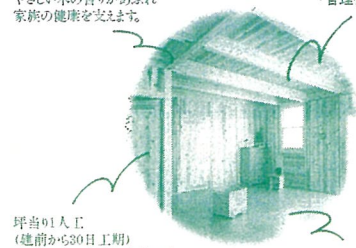
静岡県住宅課・着工新設住宅統計より

家族にやさしい木の家。 TERRA工法

(特)日本住宅・木材技術センター 木造住宅性能評価基準適合認定(第99-20号認定)

出雲大社に代表される神社建築には、柱の間に羽目板を落とし込んだ「さくりはめ壁」が使われてきました。TERRA工法は、その伝統工法を現代のニーズに合わせて改良した、21世紀型の住宅システムです。人間が最も身近に感じる素材「木」を贅沢に使い、内装材とすることで、木の持つ心地よさを十分に味わっていただける健康・快適住宅です。ホルムアルデヒドなどの有害物質の心配がほとんどないこともムク材の魅力です。スギ仕様の「杉の家」や北欧産ホワイトウッド仕様の「フィンランドの家」があります。

ムク材をふんだんに使った「木と暮らす住まい」やさしい木の香りがあふれる家族の健康を支えます。



原本から住宅までを「木」にのせて実現した「合理化とローコスト」

坪当91人立(建前から30日工期)壁(外・内)、屋根、内装まで2日で完了する「快速施工」

ゆとりのメートルモジュール容易なリフォーム「家族と共に成長する住まい」

木を見せる家にふさわしい「見える金物」

強度に貢献するスパイク柱や壁に加工された溝に納まり、強度が向上。金物の位置決めも簡単。

ロケットピンの引き寄せ機能

部材がロケット金物にはまる際に自動的に引き寄せられて部材同士が密着。美しい仕上がりと、強度・気密性が向上。

サポートプレートで確実・安全差し込んだ梁や柱をヒタヒタと受け止めて施工が簡単。強度向上にも貢献。



壁パネル・屋根パネルはムク集成ボードに壁貫通ウレタンを一体化●高気密・高断熱・健康・快適●均一・省施工●軸組の溝に落とし込むだけで壁倍率1.5倍相当の強度を確保し、安全率が向上。20mm厚以上の床パネルは、土台・大引き・野床・床に直接打ち付け●水平剛性の強化●柱根大、柱大引き束の省略

「FFロケット工法」の 日東木材産業株式会社

〒434-0012 静岡県浜北市中瀬7698 TEL:053-588-7802 FAX:053-588-2814

取扱店募集 (地域限定)

木材PRツールのご案内



住まいと健康のおはなし(定価/1部100円)



強さの検証(定価/1部100円)



ワッティの不思議な木の国(定価/1部200円)



室内空気汚染クリニック(定価/1部200円)



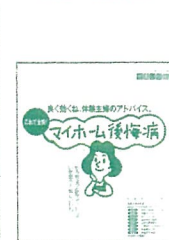
住まいのくんのなるほど「製材品」学習室(定価/1部100円)



やさしい住まいさがし(定価/1部100円)



法規くんととことん木材(定価/1部100円)



これで全快!マイホーム後悔病(定価/1部200円)



「住み心地」ライバル戦(定価/1部100円)



100部単位でね。組合員さんは半額だよ。

福祉のまちづくり大賞(お知らせ)

条例制定後、施設などハード面の整備やソフト面の様々な取り組みがなされています。このような中から優れた事例を表彰し、県民の皆様にも広く知っていただくため、表彰制度が設けられました。皆様のお声をお待ちしています。

対象：施設等の整備と福祉のまちづくりの活動、福祉のまちづくりに関する提案の3部門

応募：自薦、他薦

応募期間：平成11年7月12日00時～9月10日00時

問い合わせ：健康福祉部にやさしいまちづくり室

TEL:054-221-2985

行政の眼



誰もが住みよい

福祉のまちづくり

県健康福祉部にやさしいまちづくり室

主幹 和田 秀夫



多くの人が利用する建物や公園などの高低差のある箇所へのスロープの設置、階段の上端部への点字状のブロックの設置、階段への手摺取り付け、交差点の歩道と車道の段差解消。こうした整備は、障害を持つ人や、お年寄りなど行動に制約のある人が、日常生活や社会生活の中で、安全に円滑に利用できるような移動の障壁を取り除くためになされたものです。このように、障壁となるものを取り除くことをバリアフリーといいます。人は加齢とともに身体機能が低下し、多くの場合「障害」を持つこととなります。また、妊娠中の女性や怪我をして松葉杖を使っている人なども、社会生活を送る上で何らかの身体上のハンディキャップを持つことは同じです。大きな荷物を持ちたり、ベビーカーを引いていたりすれば、誰でも階段などの段差は移動の障壁になります。こんな時、階段の横にスロープがあったり、エレベーターが利用できれば円滑に移動できます。

障害を持つ人やお年寄りに利用しやすい施設は、誰にでも利用しやすい施設でもあります。〔福祉のまちづくり条例〕県では、平成8年四月、福祉のまちづくり条例を施行しました。条例では、建物や道路、公共交通機関の施設など多くの人が利用する施設を、障害を持つ人たちがお年寄りなどが安全で円滑に利用することができるよう、整備基準を定めています。また、県民すべてが障害者や高齢者、あるいは福祉のまちづくりに関して理解を深め、まちづくりに自ら参加していくことが重要です。思いやりのある心を育むための教育の充実や交流・ふれあいの場の確保、ボランティア活動の促進など、思いやりの心づくりに進めることを定めています。〔ユニバーサルデザインへ〕県では、本年度から年齢・性別・障害の有無等にかかわらず、すべての人に配慮されたユニバーサルデザインによる「もの・まち、環境づくり」を推進することとしています。その中で、人にやさしい「木材」が利用しやすいものとなるよう、業界の皆様のご努力を期待しています。



編集室から

文月、広報もくれん第200号をお届けします▶平成3年3月に創刊100号を創ってから足掛け9年、読者の励ましを受け、ようやく200号にたどり着いた。業界をめぐるこの間の動きを「広報もくれん」の紙面から拾ってみると……▶性能化時代の幕開けともいえる新JAS施行、静岡県大学林産学科25周年を記念した書籍「はあむくうへん83」の発行、スギ中目材商品の開発研究、

木造3階建共同住宅・内装制限の規制緩和、労働時間の短縮▶さらにはタイオキシント焼却が問題、建築基準法の大改正と住宅品質確保促進法の創設、地域住宅生産のネットワーク化事業と組合組織の再生▶さて、次なる区切りは300号。昨今の経営環境の激変からすると、10年後の木材界を想像すべくもないが、読者のお役に立てる情報紙として一生懸命歩みたい。(M)